

災害時は早めの避難を!

～災害から命を守るのは自分自身。自分は大丈夫と思っていませんか?～

清流の国ぎふ
マスコットキャラクター
ミナモ



清流の国ぎふ ミナモ通信

逃げ遅れない!

洪水・土砂災害のリスクを意識して正しく避難を

集中豪雨や局地的大雨など、近年は経験したことのない豪雨が増えています。

災害時の避難について県民一人ひとりが正しい知識をもつことが、命を守ることに繋がります。

■問/県防災課 058(272)1132



重要! 日ごろから、災害時を意識して正しい避難情報を得ましょう!

1 どこへ?

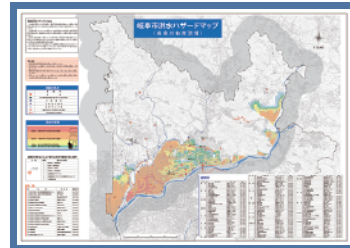
最寄りの「指定緊急避難場所」を市町村に確認!



指定緊急避難場所

2 どうやって?

身近な危険箇所を記載したハザードマップで確認!
(市町村のホームページなどで確認!)



3 いつ?

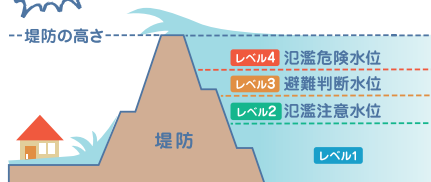
市町村の防災行政無線、広報車、テレビ・ラジオなどで避難情報を聞いて早めに避難!



日ごろから正しい情報にアクセスする習慣を!

- ぎふ川と道のアラームメール
- ぎふ山と川の危険箇所マップ
- 岐阜県 川の防災情報
- ぎふ土砂災害警戒情報ポータル

注意! 氾濫危険水位に達する前に避難を!



市町村が避難勧告を発令する目安の水位で、ただちに避難する必要があります。氾濫危険水位に達すると30分から60分後には堤防の低い位置などから水があふれるおそれがあります。



この気象・情報を聞いたら即行動!

大雨警報

大雨によって重大な災害が起る恐れがある[大雨警報(土砂災害)、大雨警報(浸水害)など]

記録的短時間大雨情報

数年に一度しか発生しないような短時間の大雨を観測した場合

特別警報

重大な災害が起る恐れが著しく大きい場合[大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪]

土砂災害警戒情報

土砂災害発生の危険度が非常に高まった場合

〇〇川氾濫危険情報

河川の氾濫に対して危険な場合

住んでいる場所の特徴を知り、家庭状況に合わせた準備を!



清流の国ぎふ 防災・減災センター コーディネーター 防災士 岩井慶次さん

6月から心配される豪雨などは、地震や噴火と違い予測・準備が可能です。市町村からの情報や指示を待つのではなく、災害が起こる前に自分の目と足を使って地域の特徴や家族にとって必要な準備を知ることが大切です。

夜間に水害が発生した場合は、暗闇のなか、やみくもに動くのは危険です。その場合の備えも必要でしょう。

住む場所や一緒に避難する家族の状況によって逃げ方、逃げる場所、持っていくものはすべて異なることを意識してください。災害への備えは、すべて自分自身のこととして考えましょう。

災害の種類を知り、何が起こりうるか家族や近隣の方々との情報を共有することが大切です。

地域の防災訓練に参加しましょう!

(6~9月に行われるもの)

- 大垣市…6月5日(日)
- 高山市…6月上旬
- 関市…6月・10月
- 美濃市…6月~9月
- 土岐市…5月~9月
- 各務原市…6月・9月
- 可児市…6月
- 下呂市…6月
- 揖斐川町…6月
- 東白川村…6月
- 白川村…6~8月

※その他の地域についても市町村に問い合わせて参加しましょう